

第2期子どもをみんなで育む計画 令和3年度事業評価集計(対象事業：重点施策)

基本目標	事業番号	事業名	令和2年度	令和3年度
1 子育てを支援する地域づくり	1	子育て及び家庭教育情報の提供	B	B
	2	子育て支援総合窓口事業	B	B
	8	保育所	B	C
	9	送迎保育ステーション	B	B
	10	地域子育て支援センター	B	B
	12	幼保一元化	B	B
	14	児童館・児童センター	B	B
	15	学童クラブ施設	B	B
	17	療育施設	B	B
2 子どもと母親(保護者)の健康づくり	20	ファミリー・サポート・センター	B	B
	34	妊娠・出産・子育てサポート事業	A	B
	36	乳幼児健康診査	A	B
3 子どもが健やかに成長できる教育環境づくり	41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供	B	B
	52	相談・カウンセリング	B	B
	56	幼児教育に関する研究・研修	B	B
	61	特別支援教育	B	B
	64	絵本のふれあい体験の支援	B	B
4 子どもの安全を守る生活環境・体制づくり	69	家庭教育講座	B	B
	85	公園の整備・充実	B	B
	88	防犯対策の充実	B	B
	94	関係機関、団体との情報交換	B	B
5 男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり	97	安全管理の促進	B	B
	106	延長保育	B	B
	110	病児・病後児保育	B	B
6 保護が必要な子どもへの支援体制づくり	112	障害児保育	B	D
	113	学童クラブの活用	B	B
	115	子ども家庭支援拠点(支援拠点事業)	B	B
	117	虐待予防と早期発見	B	B
	118	虐待に関する相談の充実	B	B
	119	児童虐待防止のための連携強化	B	B
	120	社会的養育の推進	B	B
126	療育指導・機能訓練	B	B	
	129	居住訪問型児童発達支援	D	D

■事業評価シートの見方

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★9	送迎保育ステーション(保育課)	送迎保育ステーションを利用し、市内の保育所まで送迎することにより、待機児童の解消や保育所利用者の利便性の向上を図ります。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)		2	2	→	→	→	延べ利用数(人)			13,546	20,000	→	→	→
送迎バスの台数		8	8	→	→	→	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)			3	0	0	0	0
R3年度の現状	保育園の開設やコロナの影響で令和2年度よりは増加したものの利用人数は低調でした。						課題解決のための改善策	引き続き感染症対策を徹底して行います。						
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症対策及び対象園が増えているため速やかな送迎を行うことが課題です。						R5からR6年度の取り組み	新園の開設等による需要の低下を踏まえ事業の継続について検討します。						

①評価区分

A：B評価+成果を向上させる改善・改良を施した(90~100%)

B：達成出来た(80~89%) ← 通常どおり事業を遂行した場合

C：一部達成出来た(一部達成出来なかった)(80%未満)

D：達成出来なかった(未実施・廃止・統合など)

※新型コロナウイルス感染症の影響により、事業内容を変更して実施した場合は、B評価(通常どおり事業を遂行した場合)に該当します。

【例】対面でのイベント実施を取り止め、オンラインを活用し実施した

②活動指標・成果指標

数値目標の設定になじまない、設定できない事業は指標を矢印(↑(上昇)、↓(下降)、→(現状維持))としています。

基本目標1 子育てを支援する地域づくり

基本目標1 子育てを支援する地域づくり														
(1)情報提供・相談体制の充実														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★1	子育て及び家庭教育情報の提供 (子ども家庭課・生涯学習課・公民館)	<p>【子ども家庭課】子育てに関する各種情報・講座・教室の案内等の情報を、広報や情報誌、ホームページ等での確に提供するよう努めます。(流山市市民便利帳(日本語・外国語)・ママフレ・児童館・児童センター活動パンフレット)</p> <p>【生涯学習課】子ども・親子向けイベントを含む各種講座・教室の案内等の情報を、広報や情報誌、ホームページ等での確に提供するよう努めます。</p> <p>【公民館】若い親が情報ツールとすることが多い、携帯電話のインターネット機能を駆使した情報発信などを視野に、さまざまなメディアを使って、よりの確かつ迅速に子育て情報を提供します。</p>										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
R3年度の現状							課題解決のための改善策							
R3年度の現状		R3年度からは、LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」を開設し、また、従来からのママフレや子育てサイトのホームページ等も活用しながら、子育てに関する各種情報の提供を行いました。【子ども家庭課】新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事前申込制にして定員を減らし実施したため、参加をお断りすることもありました。公民館の子育てサロンやセミナー、コンサート等、広報ながれやま市HPに掲載しました。イベント時に市ツイッターや地域のコミュニティ情報誌を活用し広報活動をしました。【公民館】生涯学習課及び生涯学習センターが開催する「子ども・親子向けイベント」の情報を、広報ながれやま及び市ホームページに掲載し、広く市民に周知しました。また、市主催以外のイベント等についても、チラシ配架やポスター掲示を随時行いました。【生涯学習課】				課題解決のための改善策		LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」の登録者数を増やすために、窓口での案内等の強化に努めます。また、他課にも再度、LINEの周知をはかり、利用を促していきます。【子ども家庭課】引き続き的確な情報提供に努めます。また、感染症対策でチラシの配布があまり出来なかったため、若い親が情報ツールとすることが多いインターネットを利用した情報発信など、よりの確かつ迅速に子育て情報を提供します。【公民館】引き続き、広く市民に情報提供します。【生涯学習課】						
これまでの課題		LINE公式アカウント「ながれやま子育てちゃんねる」の登録者数を増やしていくことと、子ども家庭課だけの情報ではなく、他課も含め、子育てに関する情報発信等を行うていく必要があります。【子ども家庭課】新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、事前申込制にして定員を減らし実施したため、参加をお断りすることもありました。【公民館】				R5からR6年度の取り組み		LINEやホームページ等の情報発信ツールを活用し、必要な方への確な情報提供に努めます。【子ども家庭課】新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めつつ、サロンや講座等の開催回数の増加に努めます。【公民館】「子ども・親子向けイベント」の開催情報を、広報ながれやま及び市ホームページ等に掲載し、広く市民に情報提供します。【生涯学習課】						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価		
★2	子育て支援総合窓口事業 (子ども家庭課)	子どもや保護者が幼稚園や保育所、認定こども園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるように、情報の収集・提供を行い、必要に応じて相談・助言をするとともに、関係機関との連絡調整を行います。										A・B・C・D		
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
相談対応件数(延べ)		1,596	↑	↑	↑	↑								
R3年度の現状		窓口や電話相談だけでなく、オンライン相談を活用し、子どもや保護者が状況に応じた幼稚園・保育園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報の収集や提供、助言を行いました。また、相談内容によっては、関係機関と連絡調整し、適切な支援部署・機関につなぎました。				課題解決のための改善策		おやこあんしん相談窓口について、LINEやホームページ等を活用し、周知をはかっています。						
これまでの課題		おやこあんしん相談窓口について、転入者等を含め、窓口の案内を周知する必要があります。				R5からR6年度の取り組み		引き続き、窓口や電話相談だけでなく、オンライン相談を活用し、子どもや保護者が状況に応じた幼稚園・保育園等の施設や地域の子育て支援事業を円滑に利用できるよう、情報の収集や提供、助言を行います。また、関係機関と連絡調整し、適切な支援部署・機関につないでいきます。						

基本目標1 子育てを支援する地域づくり

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★8	保育所 (子ども家庭課・保育課)	待機児童数ゼロを達成するため、認可保育所等を整備します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標					R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
認可保育所等整備数(定員数(3.31時点))		7,692	8,284	—	—	—	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)					3	0	0	0	0
認可保育所等施設数(3.31時点)		100	↑	—	—	—										
R3年度の現状	認可保育所整備の公募を実施し、流山おおたかの森地区を中心に740名の定員増を図りました。	課題解決のための改善策					整備計画に基づき、待機児童の解消に向けた保育の受け皿確保を進めます。認可保育所整備の公募の実施に際して、多様な保育ニーズに対応可能な保育施設の募集を行います。									
これまでの課題	待機児童ゼロを実現できませんでした。また、多様な保育ニーズに対応するべく、一般的な保育のみならず、子育て相談や一時預かり、延長保育など、バリエーションを持たせた保育施設の整備を引き続き進めていく必要があります。	R5からR6年度の取り組み					就学前児童数の増加による需要プラスの要因や、保護者の育児休業の取得の促進および新型コロナウイルス感染症拡大の影響による需要のマイナスにより、保育需要が変化しています。これらの要因を勘案したうえで認可保育所等の整備を行います。									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★9	送迎保育ステーション (保育課)	送迎保育ステーションを利用し、市内の保育所まで送迎することにより、待機児童の解消や保育所利用者の利便性の向上を図ります。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標					R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
送迎保育ステーションの設置数(か所)		2	2	→	→	→	延べ利用数(人)					13,546	20,000	→	→	→
送迎バスの台数		8	8	→	→	→	待機児童数※翌年度4月1日時点(人)					3	0	0	0	0
R3年度の現状	保育園の開設やコロナの影響で令和2年度よりは増加したものの利用人数は低調でした。	課題解決のための改善策					引き続き感染症対策を徹底して行います。									
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症対策及び対象園が増えているため速やかな送迎を行うことが課題です。	R5からR6年度の取り組み					新園の開設等による需要の低下を踏まえ事業の継続について検討します。									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★10	地域子育て支援センター (子ども家庭課)	職員の資質向上を図り、子育てに関する相談、情報の提供、子育てグループの支援や各種サービスの提供など、子育て世帯へのサポートを充実していきます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標					R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
子育て支援センター数		11	16	11	11	11	利用者数					34,770	57,824	↑	↑	↑
R3年度の現状	令和3年度は、子育て支援センター数の減少や、新型コロナウイルス感染症の影響により、目標数には到達していないが、子育て支援センターが、独自に、公園出張を行うなど、新たな取り組みを構築し、子育て世帯へのサポートを行いました。また、担当職員の自己評価やLINE等による利用者アンケートを実施しました。	課題解決のための改善策					子育て支援センター職員の質の向上のため、市主催で研修を年3回開催し、子育て支援センター全体の質が下がらないようにします。									
これまでの課題	子育てセンターに従事する職員の異動等もあるため、職員の質が下がらないようにする必要があります。	R5からR6年度の取り組み					新型コロナウイルス感染症の影響により昨年は、現地調査が出来なかったが、機会を捉えて、現地調査を行います。また、担当職員の自己評価やLINE等による利用者アンケートも実施します。									
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★12	幼保一元化(子ども家庭課・指導課)	【子ども家庭課】教育と保育の両方のニーズに対応できるよう、今後も認定こども園の整備を進めます。 【指導課】幼児教育支援センターにおいて、今後も国の動向を見ながら、幼保小関連教育の研究を進めています。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標					R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
保幼小関連教育研究会開催回数		3	3	3	3	3	保幼小関連教育研究会参加延べ人数					214	210	215	215	215
R3年度の現状	「幼児教育を小学校教育につなぐ」をテーマに、年間3回の研究会を実施しました。接続期のカリキュラムについて大学教授から学んだり、接続期の取り組みについてグループ協議をしたりして、研究を深めることができました。【指導課】	課題解決のための改善策					気になる子どもの見立て方やかわり方について研究を深めるとともに、幼保小の情報交換や引継ぎ、療育施設等関係機関とも連携を図り、一人一人のニーズに応じた切れ目のない支援体制づくりを構築を目指します。【指導課】									
これまでの課題	5歳児に、生活・学習の基盤を保障できるよう今後も接続期の取り組みについて研究を深めるとともに、保幼小連携で一人一人の発達を把握し、早期支援につなげていきたいと思います。【指導課】	R5からR6年度の取り組み					幼児や児童生徒が年々増加しており、今後さらに保幼小の連携が必要になってきます。より多くの先生方と連携を深め、幼児教育の目的に応じた指導や接続期における取組について研究・研修を進めていきます。【指導課】									

基本目標1 子育てを支援する地域づくり

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★14	児童館・児童センター(子ども家庭課)	おおたかの森地域及び南流山地域において、児童センターを新たに整備します。市内児童館・児童センターにおいて、地域の子育て活動の拠点施設となるような保護者・乳幼児の子育てサポートするための事業を実施します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
(仮称)南流山地域図書館・児童センター整備工事進捗率(%)		67	66.7	100	—	—	市内7施設利用者アンケート(%) 「施設を利用することで子育てを支えられていると感じる:あてはまる・だいたいはあてはまる」平均				98.5	↑	↑	↑	↑	
R3年度の現状	既存児童館・児童センターでは、幼児のグループ活動によるお友達を伴ったサポートや子育ての相談に取り組み、学童には、ボールあそびや卓球、大型ブロック、マンカラ、カードゲーム、読書など多様な遊びの場を提供しました。また、オンラインで児童館の取り組みを紹介したり、いつでも利用者のそばにあり続ける活動にも注力しました。 (仮称)南流山地域図書館・児童センター整備では、躯体工事に着手し、令和4年度開設に向け工事を進めています。					課題解決のための改善策		既存児童館・児童センターにおける各種イベント等の再開に向け、参加方法や活動時の参加者の動きなどの検討を重ね対応していきます。 (仮称)南流山地域図書館・児童センター整備の工事では、市、工務会社、学校と三者で連絡を密にし、学校活動や近隣住民の方々の生活に支障が生じない、あるいは最小限に留められるよう計画を進めます。								
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、開催が難しかった各種イベント等について再開が適うよう検討を進める必要があります。 (仮称)南流山地域図書館・児童センター整備の工事では、学校活動や近隣住民の方々の生活に支障が生じないよう、あるいは最小限に留められるよう最大限配慮する必要があります。					R5からR6年度の取り組み		既存児童館・児童センターでは、スタッフが、利用者が一体となり、手指消毒や検温、施設内換気を徹底し、安心、安全な施設利用を進めます。 また、子どもに楽しく利用してもらえることはもちろんのこと、子ども自身が安心して自分の気持ちを話せるような居場所となるよう引き続き運営していきます。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★15	学童クラブ施設(教育総務課)	放課後の留守家庭の児童の健全な育成を図るため、学童クラブの充実を図ります。学童需要が大幅に増加する中で、安全な育成支援が提供できる環境を整備していきます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
整備後の定員数(人)		3,240	3,240	3,240	3,680	3,680	待機児童数(3月末)(人)				0	0	0	0	0	
整備後の施設数(施設)		37	37	37	39	39										
R3年度の現状	令和3年度の小山小学校区に新たに第5おおたかの森ルームの整備を行いました。その結果、同学校区の定員は210名でしたが、160名の増加により定員は370名となりました。					課題解決のための改善策		利用児童者数の増加が予想される地区等において、児童数の推計をもとにあらかじめ学童クラブを整備することで、待機児童が出ないようにします。								
これまでの課題	学童クラブの利用児童数が増える中で、待機児童が発生しないよう学童クラブの整備を行う必要があります。					R5からR6年度の取り組み		令和6年度に新たに開校予定である南流山第二小学校(仮称)と市野谷小学校(仮称)に学童クラブを整備していきます。								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★17	療育施設(児童発達支援センター)	障害のある児童の自立支援のため、児童発達支援センターの充実を図ります。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
つばさ学園 実人数		33	37	35	↑	↑	つばさ学園 延べ利用人数				3,676	3,960	4,200	↑	↑	
児童デイつばさ 実人数		57	54	55	↑	↑	児童デイつばさ 延べ利用人数				2,111	1,848	2,656	↑	↑	
R3年度の現状	発達支援計画書及び個別支援計画書に基づき園児の支援に努めました。行事について、感染予防のため保護者の参加は見合わせましたが、内容について昨年度の実績をもとに工夫を加えて実施することができました。昨年度中止した保護者への説明会、学習会等について、感染症対策を講じながら一部実施することができました。					課題解決のための改善策		コロナ禍の制限ある中でもできること(園児への支援、保護者との連携等について)、また園児の発達、成長に必要なことを職員間で検討していきます。								
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症対策を講じながら児の成長につながる支援(教材の使用法や過密状態の予防を含めた)について検討していく必要があります。保護者の行事への参加や園児の活動の様子を見る機会が制限されています。このため保護者と連携しながら園児への支援を進めていくにはこれまで以上の連携方法を工夫していく必要があります。					R5からR6年度の取り組み		新型コロナウイルス感染症対策を講じながら園児の健康を第一に、園児の発達、成長に必要な支援の充実を図っていきます。								

基本目標1 子育てを支援する地域づくり

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
★20	ファミリー・サポート・センター(子ども家庭課)	仕事と育児の両立のため、育児を必要とする市民が育児を提供できる市民から、子育て支援を受けられるファミリー・サポート・センター事業を推進します。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
提供会員数及び両方会員数		2,253	↑	↑	↑	↑	マッチング件数		277	↑	↑	↑	↑
活動状況数		7,579	7,164	↑	↑	↑							
R3年度の現状	令和3年度は、目標値よりも利用者数が増加しており、また、マッチング件数も増加しました。活動説明会は、12回予定のうち、12回を実施し、基礎研修会も予定通り4回実施しました。	課題解決のための改善策		提供会員を増やすためには、手続きの負担を減らすために、郵送でも登録ができるようにします。									
これまでの課題	利用会員数が増えているため、提供会員を増やす必要があります。	R5からR6年度の取り組み		引き続き、ファミリー・サポート・センターの提供会員を獲得するために、LINE等を活用して、周知していきます。									

基本目標2 子どもと保護者の健康づくり													
(1)子どもや保護者の健康の確保													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
★34	妊娠・出産・子育てサポート事業 (健康増進課)	<p>子育てなんでも相談室として、妊娠・出産・子育てまで切れ目のない支援を実施します。母子健康手帳交付時の妊婦面談により情報把握を行い作成した支援計画をもとに安心して出産・育児に臨めるよう、妊娠早期から不安や困り事についての相談に応じ、解決に向けた支援をします。</p> <p>子育て世代の流入に伴い、転入者や初妊婦も増えることが見込まれることから、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、母子健康手帳交付時に「コウノトリプラン」を一緒に作成します。</p> <p>出産後、心身の不調や育児不安のある母子に対し、「産後ケア」を紹介してまいります。</p> <p>子育てなんでも相談室(子育て世代包括支援センター)を中心に、子ども家庭課をはじめ関係機関・団体と連携し、子育てについてのサポートをしていきます。</p>								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
妊婦面談率(%)		100	100	100	→	→	この地域で今後も子育てをしていきたい者の割合(%)		93	96.5	95	96.5	↑
乳児家庭全戸訪問実施率(%)		94	100	95	↑	↑	育てにくさを感じた時に対処できる親の割合(%)		82	88	85	88	↑
R3年度の現状	母子健康手帳交付時に面談を行い、妊婦に対し早期に状況把握及び必要な情報提供や支援を実施しています。「産前産後サポート事業」では、妊婦を対象とした教室を開催し孤立感の軽減及び地域での仲間づくりを促し、孤立感の軽減を図っています。新型コロナウイルス感染症の影響により、家族等からのサポートが受けられない等の相談がよせられています。また、感染状況により事業の実施方法の工夫が必要となっています。						課題解決のための改善策		産前産後に家族からのサポートを受けられない方へ、「育児支援等サポート事業」による家事・育児支援を提供し妊婦の身体的及び心理面の負担を軽減します。また、「産前産後サポート事業」では、オンラインと対面での開催を実施します。なお、令和4年度末には、南流山センター内に「子育てなんでも相談室」を開設し、更なる支援体制の強化を図ります。				
これまでの課題	支援を要する妊産婦の増加がみられます。コロナ禍においての情報提供や支援体制が脆弱にならないよう、関係機関との連携により安定した切れ目のない支援の継続が必要です。また、家族等からのサポートが受けられない方への様々な支援が必要です。						R5からR6年度の取り組み		保健センターと南流山センターの2つの「子育てなんでも相談室」による相談・支援体制の強化を図ります。新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を継続しつつ、妊産婦へ必要な情報提供や切れ目のない支援が実施できるよう努めます。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
★36	乳幼児健康診査 (健康増進課)	<p>乳幼児健康診査の充実を図ったことで、疾病や発達障害の早期発見予防といった丁寧な健康診査に努め、子育て中の保護者の孤立化を防ぎます。また、マイナンバーを活用した他市町村との情報連携を行い、未受診者を把握することで、虐待の予防、早期発見に繋がります。</p> <p>(参考)乳幼児健康診査(3～6か月児、9～11か月児)、3か月児健康診査、1歳6か月児健康診査、3歳児健康診査</p>								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
乳児一般健康診査受診券交付者数(人)		2,656	2,500	2,500	→	→	1歳6か月児、3歳児健診受診率(%)		93.6	98	95	→	→
3か月児、1歳6か月児、3歳児健診問診票発送数(通)		7,334	7,100	7,000	→	→	3か月児健診受診率(%)		93.8	99	95	→	→
R3年度の現状	令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症予防に配慮しながら、保護者が安心してお子様にとって適切な年齢で各種健康診査を受診できるよう、市内協力医療機関で受診する個別健診を含めた内容で実施しています。						課題解決のための改善策		3か月児、1歳6か月児、3歳児健康診査については、未受診訪問を実施し、状況の把握及び問診票を再交付する等、引き続き、受診勧奨を行い全数把握に努めます。新生児聴覚スクリーニング検査については、早期発見、早期療育につながるよう関係機関との連携に努めます。				
これまでの課題	1歳6か月児、3歳児健康診査の実施方法を一部医療機関での個別健診に変更したことにより、受診率が低下しました。また、令和3年度から実施している新生児聴覚スクリーニング検査については、検査結果を確実に把握することが必要です。						R5からR6年度の取り組み		新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で乳幼児健康診査の実施方法について、受診率の向上も考慮し、内容を含め、更なる検討が必要です。また、未受診者については、必要に応じて、関係機関と連携して、状況の把握に努めます。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
★41	養育支援訪問事業・産褥期ヘルパーの情報提供 (子ども家庭課・健康増進課)	<p>【子ども家庭課】産後、親族等の支援が難しい方等を中心に利用できるサービスの情報提供を行うとともに、利用者の適切な支援計画を作成し、安心して産後の生活ができるよう支援します。</p> <p>【健康増進課】養育支援が特に必要な家庭に対し、専門職等による訪問を実施し、養育に関する指導・助言・必要なサービスの情報提供等を行うことで、保護者等が適切な養育を行えるよう支援してまいります。今後は支援体制の見直しを関係機関と行い、事業の充実を図ります。</p>								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
養育支援訪問実数【健康増進課】		7	→	→	→	→	ヘルパーサービス利用実数【健康増進課】		4	→	→	→	→
養育支援訪問延数【健康増進課】		18	→	→	→	→	ヘルパーサービス利用延べ数【健康増進課】		18	→	→	→	→
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症の影響で、支援可能な事業所が限られたケースがありましたが、必要性が高い家庭については、保護者や事業所と調整を図りながら実施しました。【子ども家庭課】乳児家庭全戸訪問の結果や健診、関係機関からの情報等で把握した、支援が必要な家庭について、健康増進課内で検討を行い、必要な家庭に養育支援家庭訪問を実施しています。また、関係部署と連携が必要な場合は、随時情報共有し、評価しながら対応や役割を明確にして対応しています。【健康増進課】						課題解決のための改善策		関係機関と連携し、支援の必要性が高い家庭に適切にサービス提供が行えるよう情報提供を行うとともに、利用希望者には支援計画を作成し、安心して子育てができるよう支援します。【子ども家庭課】課内や関係部署との検討会やケース会議を実施し、必要なサービスを実施できるよう、関係機関と連携してまいります。また、その様な機会を活用し、個々のケースの支援検討だけでなく、支援体制の整備や連携強化についても検討してまいります。【健康増進課】				
これまでの課題	養育訪問支援(ヘルパー派遣)の必要性が高いと判断しても、保護者の理解が得られなかったり、予定された支援期間が保護者の意向で切り上げとなることがありました。【子ども家庭課】乳幼児の人口増加に伴い、支援が必要な家庭も増加傾向にあります。相談内容も様々であり、引き続き必要な支援を適切なタイミングで提供する必要があります。【健康増進課】						R5からR6年度の取り組み		子育てに当たり、親族等の支援が難しい方等に利用できるサービスの情報提供を行うとともに、適切な支援計画を作成し、安心して生活ができるよう支援します。【子ども家庭課】支援が必要なケースに関しては地区担当保健師がケースワークをしている場合もあり、養育支援訪問の適応があっても利用していない場合もあります。適切なタイミングで必要な支援を展開できるように、事例検討等を行い、事業への理解を深めていくとともに、研修を通して指導・助言の質の向上、情報の更新に努める必要があります。【健康増進課】				

基本目標3 子どもが健やかに成長できる教育環境づくり														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
★52	相談・カウンセリング (子ども家庭課・指導課・生涯学習課)	<p>【子ども家庭課】児童・生徒・保護者がいろいろな問題について気軽に相談できるよう、相談事業の充実を図るとともに、必要であれば、カウンセリングが受けられるよう、関係機関との連携を強化します。 子ども家庭課に心理士を配置し、カウンセリング等には至らないが心理的な側面からの相談にも対応できるようにします。</p> <p>【生涯学習課】青少年やその保護者たちが一人で悩まないよう、青少年専門相談員による電話、訪問、窓口での相談の充実を図ります。</p> <p>【指導課】スクールカウンセラーを配置し、支援・相談体制の充実を図ります。</p>									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
相談件数(件)【生涯学習課】		57	→	→	→	→								
相談対応件数(延べ)【子ども家庭課】		18,366	→	→	→	→								
相談件数【指導課】		2,034	→	→	→	→	教育支援センター活用人数(見学・体験含む延べ人数)【指導課】			52	→	→	→	→
R3年度の現状	子どもや保護者に対して、心理士によるアセスメントや心理的側面からの助言を行いました。また、子どもや保護者が抱える課題等について、より専門的に継続的な支援が必要な場合は、医療機関等関係機関と連携・対応しました。【子ども家庭課】カウンセラーによる教育相談を充実させ、学校や関係機関と連携した対応に努めました。【指導課】相談者が相談しやすい雰囲気づくりや丁寧な聞き取り等で相談活動の充実を図っていますが、相談窓口の性質上、どうしても待ちの状況になりがちです。また、市内でもいろいろな相談窓口があるので、区別化が難しいのが現状です。【生涯学習課】	課題解決のための改善策		心理士によるアセスメントや心理的側面からの助言を活用し、相談・支援体制の充実を図ります。また、カウンセリング希望や必要性がある場合は、適切な機関・部署につなぎます。【子ども家庭課】相談内容に合わせた対応を進めていけるよう、学校はもとよりスクールソーシャルワーカー等関係機関との連携を強め、支援・相談を進めていきます。【指導課】個々の相談への対応については、全体的に充実を図ることができましたが、学校や関係機関との積極的な連携に課題が残ったため、案内後の状況についても情報提供してもらい、継続的な支援ができるよう努めます。【生涯学習課】										
これまでの課題	SNSの普及や様々な家庭背景等から、子どもや保護者が抱える問題が複雑多岐にわたっています。【子ども家庭課】相談内容が多様化し、より主訴に応じた相談をする必要がありました。【指導課】相談者の悩みの解決が図れるよう、相談内容によって関係諸機関を案内していますが、案内までに留まりがちなので、確実に繋いでいけるよう連携を強化していく必要があります。【生涯学習課】	R5からR6年度の取り組み		子どもや保護者が生活や家族関係等様々な問題について気軽に相談できるよう、相談事業の充実を図ります。また必要であれば、カウンセリングが受けられるよう、関係機関との連携を強化します。【子ども家庭課】時代の変化に合わせて相談内容にも変化がみられることが予想されます。さらに柔軟に相談に対応ができるよう、教職員の研修を拡大したり、連携の在り方を検討していきます。【指導課】より多くの市民に相談の機会を提供できるよう、相談活動の工夫に努めます。また、関係機関への案内だけでなく、案内後の状況についても情報提供してもらい、継続的な支援ができるよう努めます。【生涯学習課】										
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
★56	幼児教育に関する研究・研修(指導課)	質の高い幼児教育が望まれているため、幼児教育の目的に応じた適切な指導が行われるよう、その研究・研修活動の支援の一層の充実を図ります。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
保幼小関連研究会回数		3	3	3	3	3	研究会参加人数(延べ人数)			214	→	→	→	→
R3年度の現状	幼児教育の目的に応じた適切な指導や保幼小の接続期における取組について研究・研修活動を行い、支援体制の充実を図ってきました。	課題解決のための改善策		幼児期の発達や幼児期の子どもへの具体的な対応方法等について、公認心理師を招聘し事例研修等を実施することで、幼児教育の目的に応じた適切な指導が行えるように研修を深めていきます。										
これまでの課題	接続期における個に応じたきめ細やかな指導がより一層求められており、幼児期の発達や幼児期の子どもへの具体的な対応の仕方について、研修の必要性が高まっています。	R5からR6年度の取り組み		保幼小の連携を深め、幼児期における目的に応じた適切な指導や、保幼小の接続期における取組の工夫改善に努める等、小学校に円滑に接続できるように研究を進めていきます。										
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
★61	特別支援教育(指導課)	障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を一層伸ばせるよう、交流教育を積極的に進めます。また、市のカウンセラーや関係機関と連携しながら障害の程度や本人・保護者の願いに沿った就学相談を行い、フォローをしっかりと進めます。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
就学相談件数		413	→	→	→	→	面談を重ね、本人・保護者の願いに沿った就学支援につなげた割合(%)			100	→	→	→	→
R3年度の現状	障害のある児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばせるよう教育環境の充実を努めました。より良い就学相談の在り方を目指して業務内容について見直しを図ってきました。	課題解決のための改善策		令和4年度より5月に流山市就学説明会を行い、就学相談を希望している保護者の把握および、スムーズな就学相談を進めます。										
これまでの課題	児童・生徒の増加に伴い相談件数も増加しています。そのため、スムーズに就学相談を行っていただくことが課題です。	R5からR6年度の取り組み		障害のある児童・生徒に対して、個に応じた教育課程を編成し、交流学級での学習もより充実させていきます。カウンセラーや関係機関との連携を深め、より適切な就学相談を目指します。										

基本目標3 子どもが健やかに成長できる教育環境づくり

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
★64	絵本のふれあい体験の支援(図書館)	乳幼児や保護者、子育てにかかわる方が、絵本を通してふれあう場をつくることで、これからの子育てに役立つように支援します。また、ブックスタート関連事業「おはなし しゅっぱつしんこう!」として、乳幼児がいつでも、どこでも、色々な絵本を楽しめるように、子育て関連施設へ乳幼児向けおすすめ本セットを設置していきます。(おはなし しゅっぱつしんこう!)										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
ブックセット設置施設数		14	14	14	↑	↑	図書館全館(7館)乳幼児(6歳まで)の利用者数		15,648	12,914	21,907	↑	↑
絵本の購入冊数		924	924	922	↑	↑							
R3年度の現状	図書館司書が子どもの成長過程に応じて選んだおすすめの絵本で乳幼児向けのブックセットを製作し、市内に新設された子育て関連施設に設置しました。					課題解決のための改善策	毎年増加する子育て関連施設に対応して事業を継続するため、令和3年度から、新設される子育て関連施設を対象に限ってブックセットを設置します。また、今後の事業のあり方を検討するため、既にブックセットを設置した子育て関連施設にアンケートを実施し、ブックセットの利用状況や要望について調査しました。						
これまでの課題	毎年増加する子育て関連施設に対応して事業を継続することが課題でした。					R5からR6年度の取り組み	引き続き、新設される子育て関連施設にブックセットを設置します。子どもの読書活動を推進し、子どもを取り巻く読書環境の整備を継続的に支援していくため、ニーズに合った長期的な事業のあり方について検討します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
★69	家庭教育講座(公民館)	親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による講座等を開催します。さらに、企画運営への市民の参加を推進します。 ・乳幼児期の家庭教育講座										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
小中学校の講座実施回数		13	↑	↑	↑	↑	小中学校の講座参加者数		2,256	↑	↑	↑	↑
乳幼児期の講座実施回数		54	↑	↑	↑	↑	乳幼児期の講座参加者数		1,063	↑	↑	↑	↑
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症のため、学校が休校するなど企画運営への市民参加の活動が行えない地区があり、ほとんど学校で小中学校の保護者を対象とした開催となりました。乳幼児期の講座は、助産師、栄養士、保健師等を講師に迎え、定員を減らし、室内の換気や手指消毒等感染症対策を行いながら開催しました。双子等の講座ではサロン形式にし、講師に気軽に聞けるような取組みを行いました。					課題解決のための改善策	新型コロナウイルス感染拡大防止に努めながら、引き続き市内各小中学校のPTAから選出された家庭教育準備委員と生涯学習専門員が講座を企画・運営し、親が子どもの発達段階に応じた家庭教育の方法を身につけられるよう、専門の講師による講座等を地域の公民館等を利用するよう提案し開催します。乳幼児期の家庭教育講座も引き続き定員を減らし専門の講師による講座等を開催します。						
これまでの課題	新型コロナウイルス感染症のため、家庭教育講座を開催出来ない学校もあったため、保護者の抱える問題を一緒に学習出来るようにしたいです。					R5からR6年度の取り組み	新型コロナウイルス感染症の拡大防止に努めながら家庭教育準備委員と協力し、全校の講座開催に向けて企画・運営を提案します。						

基本目標4 子どもの安全を守る生活環境・体制づくり

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
★85	公園の整備・充実 (みどりの課)	子どもが遊びを通して、健やかに成長できるよう、防犯面にも配慮した公園等の遊び場の整備・充実を図ります。公園施設の長寿命化計画を策定し、公園遊具施設の更新をはじめとした公園等の維持管理を計画的に行います。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
							公園緑地で憩い安らげると感じている市民の割合(%)		84	79.9	87	↑	↑
R3年度の現状	既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検・補修・更新を行いました。また、既存公園の遊具新設・更新を行いました。					課題解決のための改善策	既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検結果を踏まえて、更新・補修を行いました。						
これまでの課題	公園を安全・快適に利用していただくため、老朽化してきている遊具施設等の補修を計画的に行う必要があります。					R5からR6年度の取り組み	既存公園の遊具を始めとした公園施設の安全点検を行います。また、公園施設長寿命化計画に基づき、既存公園施設の改修を行います。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
★88	防犯対策の充実 (コミュニティ課)	防犯対策及び防犯の広報啓発に努めます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
市内の防犯カメラ設置数(台)		115	115	135	155	175	刑法犯認知件数(件)		778	950	750	750	750
自主防犯パトロール隊の組織数(団体)		72	75	73	74	75							
R3年度の現状	防犯カメラの必要な箇所を警察と協議後に設置し、地域の犯罪抑止に努めました。市民安全パトロール隊や自主防犯パトロール隊と協力し、地域の見守り活動に努めました。					課題解決のための改善策	新設した自治会に自主防犯パトロール隊が設立できるように努めます。						
これまでの課題	自主防犯パトロール隊の設立や加入数を、今後どのように増やしていくかが課題となっています。					R5からR6年度の取り組み	今後も犯罪抑止のため必要な箇所に防犯カメラを設置していきます。また、警察や関係機関と連携し、地域の見守り活動を継続して行い犯罪被害の未然防止に努めます。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価	
★94	関係機関、団体との情報交換 (コミュニティ課・保育課)	【コミュニティ課】子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実に努めます。 【保育課】子どもの安心安全の確保を図るため、警察等の関係機関との連携を強めていきます。										A・B・C・D	
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
新規設置防犯灯数(灯) 【コミュニティ課】		420	400	400	400	400	刑法犯認知件数(件) 【コミュニティ課】		778	950	750	750	750
流山市学校警察連絡協議会(回) 【コミュニティ課】		4	4	4	4	4							
R3年度の現状	子どもたちが事故や犯罪に遭わないまちづくりを推進するため、防犯灯の設置をしました。その他、警察、学校、自治会等関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実に努めました。【コミュニティ課】					課題解決のための改善策	市民からの情報を元に、老朽化や腐食が進んだ防犯灯や支柱については随時交換していきます。【コミュニティ課】 不審者等の情報について速やかに保育園に提供し児童の安全を確保します。【保育課】						
これまでの課題	平成27年度にLED灯へ一括交換した防犯灯が今後、老朽化や腐食が進んでいくことが課題となっています。【コミュニティ課】					R5からR6年度の取り組み	引き続き関係機関と連携し、地域ぐるみによる地域安全活動の充実に努めます。【コミュニティ課】 子どもの安心安全の確保を図るため、引き続き関係機関との連携を強めていきます。【保育課】						

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価								
★97	安全管理の促進 (コミュニティ課・保育課・指導課)	【コミュニティ課】安全管理を図るため、啓発活動を推進します。(安心メールの発信・犯罪発生状況の提供) 【保育課】子どもの安全管理を促進するために、職場内研修を定期的実施し、職員と保護者・関係機関との情報共有に努めます。 【指導課】様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、今後も継続した学校等への啓発活動を実施します。										A・B・C・D								
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標					
安心メール(防犯)配信実績(件) 【コミュニティ課】		118	90	90	90	90	犯罪に関して市内(自宅周辺)は安全だと感じる市民の割合(%) (まちづくり達成度アンケート)【コミュニティ課】				63.1	61.0	61.0	61.0	61.0					
R3年度の現状	警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況等を安心メールで配信し、各自治会へ回覧依頼し、犯罪防止に努めました。【コミュニティ課】 災害に備え定期的に避難訓練や不審者等に対応するための職場内研修を実施しました。【保育課】 児童生徒の安全を確保するために、学校等へ安全管理の啓発を行いました。【指導課】					課題解決のための改善策					安心メールの登録推進について、市内公共施設へチラシの配架や登録相談会を実施することにより登録推進に努めます。【コミュニティ課】 不審者情報等の対応について速やか情報を発信し、児童の安全確保に努めます。また、定期的な研修を実施します。【保育課】 様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、学校等への啓発活動を行い、迅速に情報を共有します。【指導課】									
これまでの課題	安心メール登録者を今後、どのように増やしていくかが課題となっています。【コミュニティ課】 様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、様々な事態に迅速に対応する必要があります。【指導課】					R5からR6年度への取り組み					警察や関係機関と連携し、市内の犯罪発生状況などを自治会等へ提供して事業の継続を図り、犯罪防止に努めます。【コミュニティ課】 子どもの安全管理を促進するために、職場内研修を定期的実施し、職員と保護者・関係機関との情報共有に努めます。【保育課】 様々な災害、事故、犯罪に対して児童生徒の安全を確保していくために、学校等への啓発活動を行い、迅速に情報を共有します。【指導課】									

基本目標5 男女がともに仕事と子育てを両立できる環境づくり														
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
★106	延長保育 (保育課)	就労形態の多様化や、通勤時間の長時間化に対応できるよう、保育時間の延長及び延長保育実施園の拡大を図ります。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
延長保育を実施している施設数		91	91	100	100	100								
R3年度の現状	延長保育を実施しました。					課題解決のための改善策								
これまでの課題						R5からR6年度の取り組み		新設の保育所について延長保育の実施を推進します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
★110	病児・病後児保育 (保育課)	病気中及び病気回復期の乳幼児を一時的に預かる事業を推進します。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
病児及び病後児保育実施園数		4	4	→	→	→	利用者数(延べ人数)			72	200	→	→	→
R3年度の現状	コロナ禍により利用制限があったため利用者が減少しました。					課題解決のための改善策		情勢を見ながら、事業者と受け入れ基準を検討します。						
これまでの課題	コロナ禍における病児の受け入れについて検討を重ねる必要があります。					R5からR6年度の取り組み		利用実績や情勢を見ながら病児保育事業の実施箇所を検討します。						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
★112	障害児保育 (児童発達支援センター・保育課)	【児童発達支援センター】保育所等を利用しているお子さんや施設の職員に対して、集団生活適応のため専門のスタッフが直接的、間接的な支援を行います。保育所等訪問支援、並行通園を行います。 【保育課】保育所を利用する園児がお互いの理解を深め協力しながらともに育っていくよう、統合保育や児童発達支援センターにおける保育所等訪問支援事業の推進に努めます。また、医療的ケア児受入体制の整備に努めます。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
児童発達支援センター保育所等訪問支援契約者数		0	2	2	→	→	延べ利用人数			0	48	→	→	→
統合保育の実施園数【保育課】		1	1	→	→	→								
R3年度の現状	【保育所等訪問支援】感染状況をみながら支援を検討していたため、令和3年度においては利用につながる方はいませんでした。【児童発達支援センター】コロナの影響もあり統合保育の申し込みがありませんでした。【保育課】					課題解決のための改善策		【保育所等訪問支援】感染状況をみながら障害児の身体及び精神の状況、属する環境等を適切に評価し、効果的な支援につながるよう努めていきます。【児童発達支援センター】コロナ禍においても安全に受け入れができるように感染対策を行います。医療的ケア児について国の補助制度を活用し、受入体制の整備を行います。【保育課】						
これまでの課題	【保育所等訪問支援】感染状況が不安定なため、開始に至らず利用者がいませんでした。					R5からR6年度の取り組み		支援の必要なお子さんが保育所等でも生活しやすくなるために、保育所等訪問支援の利用を推進に努めます。【児童発達支援センター】統合保育のあり方について検討を行います。医療的ケア児について国の補助制度を活用し、受入体制の整備を行います。【保育課】						
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標									令和3年度評価			
★113	学童クラブの活用 (教育総務課)	児童の受け入れ体制を拡充します。市主催の支援員研修を開催するほか、各種研修会への参加支援に努め、質の向上を図ります。									A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
研修会開催件数		1	2	1	2	2	学童クラブの延べ利用人数			26,499	30,000	30,000	30,000	30,000
							支援員の処遇改善のために支払った額(千円)			26,992	20,000	27,000	27,000	27,000
R3年度の現状	令和3年度の学童クラブの延べ利用人数は26,499人で令和2年度の利用者数26,186人と比較して313人増えています。今後も利用者数は増加する見込みです。今年度は処遇改善臨時特例事業を行い、キャリアや職種に関わらず支援員の賃金改善を行いました。					課題解決のための改善策		学童クラブ支援員等の質の向上のため、市主催で研修を開催するほか処遇改善のため、経験等に依りて支援員に対する処遇改善のための支払いを行っていきます。						
これまでの課題	学童クラブに従事する職員の数も増えているため、職員の質が下がらないようにする必要があります。					R5からR6年度の取り組み		新型コロナウイルス感染症の影響により昨年の研修開催は1回でしたが、機会を捉えて引き続き研修を行います。また、各処遇改善事業についても引き続き事業を進めていきます。						

基本目標6 保護が必要な子どもへの支援体制づくり													
(1)児童虐待防止対策の充実													
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
★115	子ども家庭支援拠点(支援拠点事業) (子ども家庭課)	子育てに問題を抱える家庭を支援していくために、専門職を配置した支援拠点の整備に努めます。								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
心理担当支援員の配置		3	3	4	4	4							
R3年度の現状	心理担当支援員3名体制(会計年度任用職員を含む)で心理アセスメントや、心理的側面から子ども及び保護者の支援を行いました。						課題解決のための改善策		児童虐待予防のため、心理担当支援員による適切な親子関係形成のための支援を図ります。				
これまでの課題	SNSの普及や様々な家庭背景等から、子どもへの適切な関わり方に困難を抱える家庭が増加しています。						R5からR6年度の取り組み		心理担当支援員以外の専門職の配置も図り、様々な課題を抱える家庭の問題に適切に対応できるよう努めます。				
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標								令和3年度評価			
★117	虐待予防と早期発見 (健康増進課・子ども家庭課・保育課)	<p>【健康増進課・子ども家庭課】相談、健診、訪問指導等あらゆる機会における児童虐待の予防と早期発見に努めます。また、必要な児童に対しては、関係機関と連携し、支援の強化を図ります。さらに、育児ストレスや産後うつなどにより、子育てに不安を抱える家庭や虐待の恐れのある家庭に対して、保健師等の家庭訪問や、ヘルパーの派遣により、育児負担の軽減や諸問題の解決を図ります。</p> <p>【保育課】保育所と関係機関が連携し、指導・助言を行うなど、今後も未然防止に努めます。</p>								A・B・C・D			
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標
新規児童虐待受付件数【子ども家庭課】		676	-	-	-	-							
養育支援家庭訪問(実数)【健康増進課】		7	→	→	→	→	産後ケア利用者のアンケートで、利用目的に対する達成が満足とやや満足の回答割合【健康増進課】		91%	100%	→	→	→
産後ケア利用者数(実数の合計)【健康増進課】		22	→	22	22	22							
R3年度の現状	母子健康手帳交付時に面談し、支援が必要と思われる方に、妊娠初期から支援を行うと同時に、産後ケア等の情報提供を行い、切れ目のない支援を実施することで、育児ストレスや産後うつ等の不安を抱える家庭の児童虐待の予防に努めています。また、健診や乳児家庭全戸訪問等で支援が必要な家庭を把握し、養育支援家庭訪問等を実施し育児の支援をしています。令和2年度から引き続き、新型コロナウイルス感染症対策緊急助成事業の一環として育児支援等サービスの助成を行い、産後のサポートを行い育児負担の軽減を図りました。【健康増進課】児童虐待の予防や早期発見のため、健康増進課の定例会議に参加し、家庭状況や支援方針について共有したほか、子ども及び家庭への適切な支援に向け、役割分担を行いました。【子ども家庭課】						課題解決のための改善策		次年度も引き続き、支援が必要な方を早期に把握し、適切な情報提供や支援を実施するとともに、関係機関と連携し、児童虐待の予防に努めます。妊娠前から産後も切れ目なく支援できるよう、妊娠・育児サポート係を設置します。令和2・3年度に新型コロナウイルス感染症対策緊急助成事業として実施した育児支援等サービス利用の助成は、支援が必要な方が利用しやすい制度となるよう内容や実施方法を見直しました。【健康増進課】児童虐待の予防や早期発見のため、子ども及び家庭に関わる機関・部署と定期的に情報共有し、早期発見・早期対応に努めます。【子ども家庭課】緊急で保育が必要な児童について関係機関と協議し、情報共有及び適切な保育の提供に努めます。【保育課】				
これまでの課題	要支援家庭が増加傾向にあるため、タイムリーに関わりを持てる様、他機関との連携の強化と妊娠からの支援が必要です。【健康増進課】児童虐待の予防や早期発見・進行防止のため、より迅速な判断や適切な役割分担が求められるケースが増加しています。【子ども家庭課】						R5からR6年度の取り組み		引き続き妊娠から産後も切れ目のない支援を実施し、より身近な地域で相談、支援が実施できるよう、南流山センターに子育てなんでも相談室(子育て世代包括支援センター)を設置し、保健センターと地区を分割して支援していきます。【健康増進課】児童虐待の予防や早期発見のため、子ども及び家庭に関わる機関・部署と定期的に情報共有し、早期発見・早期対応に努めます。【子ども家庭課】緊急で保育が必要な児童について関係機関と協議し、情報共有及び適切な保育の提供に努めます。【保育課】				

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★118	虐待に関する相談の充実 (子ども家庭課・生涯学習課・指導課)	<p>【子ども家庭課】職員等の専門性のスキルアップを図り、家庭児童相談員及びケースワーカーによる児童虐待に関する相談や指導を行いながら、緊急避難体制づくりや啓発事業を推進します。</p> <p>【生涯学習課】青少年相談窓口については、関連団体等の連携に努めます。</p> <p>【指導課】教育相談から得られる情報を関係機関と共有し、相談体制や啓発事業の充実を図ります。</p>										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標		
児童福祉司資格取得講習受講者数 【子ども家庭課】		2	1	1	2	2	児童福祉司任用資格取得者数 【子ども家庭課】			5	5	6	7	7		
R3年度の現状	県や民間団体が主催する研修・講習会に積極的に参加し、スキルアップを図りました。また、広報紙やホームページを利用し、様々な相談先・方法を案内しました。【子ども家庭課】 教育相談においては丁寧な聞き取りを行った上で面談要保護児童対策地域協議会に出席し、関係機関との連携強化を図りました。【指導課】					課題解決のための改善策		研修・講習会に積極的に参加し、児童虐待に適切に対応できるよう職員の専門性やスキルアップに努めます。また、広報紙やホームページ等により、相談先を啓発します。【子ども家庭課】 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの情報共有を密にしながら教育相談を丁寧に実施するとともに、要保護児童対策地域協議会での情報を共有し、関係機関との連携を強化し適切な対応に努めます。【指導課】								
これまでの課題	SNSの普及や様々な家庭背景等から、子どもや保護者が抱える問題が複雑多岐にわたっています。【子ども家庭課】 スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、市教委の情報共有を密に行う必要があります。【指導課】					R5からR6年度の取り組み		研修・講習会に積極的に参加し、児童虐待に適切に対応できるよう職員の専門性やスキルアップに努めます。また、積極的に啓発事業の推進を図ります。【子ども家庭課】 今後も関係機関と情報を共有しながら、迅速に対応し、連携をさらに深めて適切な対応に努めます。【指導課】								
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★119	児童虐待防止のための連携強化 (障害者支援課・健康増進課・児童発達支援センター・子ども家庭課・保育課・指導課)	児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会を中心として、民生児童委員、主任児童委員などの地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の関係機関との連携の強化を図ります。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標			R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標		
個別支援会議の開催【子ども家庭課】		60	↑	↑	↑	↑	児童の安全確認実施率(%) 【子ども家庭課】			99	↑	↑	↑	↑		
要保護児童対策地域協議会への参加 【障害者支援課】		12	12	12	12	12	関係機関との連携強化 【障害者支援課】			↑	↑	↑	↑	↑		
要保護児童対策地域協議会実務者会議等に出席し関係機関との連携をとって情報共有を図ります【児童発達支援センター】		12	→	12	12	12	関係機関との情報共有を図り、児童とその家族への支援の強化【児童発達支援センター】			12	→	↑	↑	↑		
要保護児童対策地域協議会の参加回数 【健康増進課】		12	12	12	12	12										
子ども家庭課とのケース検討会議の回数 【健康増進課】		9	12	12	12	12										
R3年度の現状	児童虐待の通告があった際には、関係機関の協力のもと速やかに児童の安全確認を行いました。また、要保護対策地域協議会での個別支援会議や関係機関への訪問等により、子どもや保護者と関りのある機関・部署と連携し、児童虐待の進行予防や対応を行いました。【子ども家庭課】 要保護児童対策地域協議会や子ども家庭課とのケース検討会議に参加し、情報共有を図り、関係機関との連携に努めました。【健康増進課】 要保護児童対策地域協議会及び個別支援会議へ参加し、情報共有や支援方針の確認、役割分担等を行いました。【障害者支援課】 要保護児童対策地域協議会実務者会議等に出席し関係機関との情報共有を図りました。また児童虐待が疑われる当センターを利用している児童について、子ども家庭課と情報共有を図り当該家族の支援に繋げました。【児童発達支援センター】 児童生徒の生命を守ることを最優先に考え、関係機関との連携強化を図りました。【指導課】					課題解決のための改善策		関係機関等へ要保護児童対策地域協議会の活動理解を深め、児童虐待に対して迅速な対応が行えるよう努めます。また、個別支援会議を積極的に活用し、関係機関との連携を強化します。【子ども家庭課】 児童虐待に対応するため、要保護児童対策地域協議会に出席し、地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の行政機関との連携の強化を図り、支援体制の構築に努めます。【健康増進課】 緊急時のみに留まらず情報共有を行い、支援方針を確認しながら協力体制をとっていきます。【障害者支援課】 オンラインを使った会議の開催など可能な方法を検討していきます。【児童発達支援センター】 今後も関係機関と情報を共有しながら、迅速に対応し、連携をさらに深めることにより、適切な対応ができるように努めます。【指導課】								
これまでの課題	要保護児童対策地域協議会の活動理解が乏しく、児童虐待の通告や連携に時間を要することがありました。【子ども家庭課】 児童虐待の対応件数は増加傾向にあるため、今後も関係機関と連携をし、迅速かつ適切に支援を行う必要があります。【健康増進課】 支援を行った個別ケースの情報共有については、これまでも緊急の対応を行った時等必要に応じて情報提供・情報共有を行っていました。継続的な協力体制を保っていくことが課題と感じています。【障害者支援課】 関係者が一堂に集まってケースについて話し合う個別支援会議について、新型コロナウイルス感染症の感染状況や業務上の都合により一堂で集まる機会を持つことに難しさがあり、関係機関ごとの対応になりやすかった。【児童発達支援センター】 児童生徒の生命を守るために、学校、他機関と連携を取りながら迅速に対応する必要があります。【指導課】					R5からR6年度の取り組み		関係機関の会議等に積極的に参加し、要保護児童対策地域協議会の機能や役割について周知を図ると共に、民生児童委員、主任児童委員などの地域住民や医療機関、また児童相談所、警察等の関係機関との連携の強化を図ります。【子ども家庭課】 引き続き医療機関や児童相談所、警察等の行政機関との連携の強化を図り、支援体制の構築に努めます。【健康増進課】 継続して会議等に出席し、対象児童に関する情報や支援方針を確認するとともに、適宜支援状況について報告を行います。【障害者支援課】 今後も関係機関との連携を図りながら情報共有を図り、迅速かつ効果的な対応ができるように努めます。【児童発達支援センター】 定例で開催される要保護児童対策地域協議会実務者会議にて各関係機関と情報交換、連携を図ります。【保育課】 今後も関係機関と情報を共有しながら、迅速に対応し、連携をさらに深めて適切な対応に努めます。【指導課】								

番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★120	社会的養育の推進 (子ども家庭課)	虐待等の様々な事情により保護者と暮らすことができない子どもを、できる限り家庭的な環境で養育するため、県と連携し里親制度の普及・啓発を行います。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
啓発活動の実施		2	2	↑	↑	↑										
R3年度の現状	10月の里親啓発月間には広報紙へ掲載、11月の児童虐待防止啓発月間には児童虐待防止の啓発パネル展示と共に、里親啓発のポスター掲示を行いました。里親制度の理解を深めるため、里親を講師にお招きし、市職員等を対象に研修会を開催しました。					課題解決のための改善策					引き続き、10月の里親啓発月間には広報やポスター掲示により、里親制度の普及・啓発活動を行います。					
これまでの課題	里親制度について、積極的な普及・啓発活動を行い、里親制度に関する理解を深める必要があります。					R5からR6年度の取り組み					広報やポスター掲示等により里親制度の普及・啓発活動に努めると共に、千葉県等の啓発活動等に協力し、啓発に努めます。					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★126	療育指導・機能訓練 (障害者支援課・児童発達支援センター)	【障害者支援課】障害のある児童の自立のため、障害児通所支援事業により、障害児相談支援、児童発達支援、保育所等訪問支援及び放課後等デイサービスなどの事業を実施します。 【児童発達支援センター】集団・個別療育、機能訓練を実施していきます。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
障害児通所支援事業所数【障害者支援課】		33	27	34	35	36	障害児通所支援事業所延べ利用者数【障害者支援課】				10,076	11,228	10,500	11,000	11,500	
PT(理学療法)・OT(作業療法)訓練 外来実人数【児童発達支援センター】		55	54	55	→	→	PT(理学療法)・OT(作業療法) 延べ利用人数【児童発達支援センター】				701	587	700	→	→	
外来療育実人数 【児童発達支援センター】		14	15	15	→	→	外来療育延べ利用人数 【児童発達支援センター】				139	166	150	→	→	
R3年度の現状	新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、利用者数及び事業所数ともに増加しており、療育支援が必要な児童に対し、個別または集団でのサービス提供を行い、自立に向けた支援を行いました。【障害者支援課】(PT・OT)感染症対策を行いながら、個別の機能訓練をととして児童の運動発達を促すことや感覚運動機能の向上を図ってきました。(外来療育)1クラス当たりの人数を6人までにし、感染症対策を行いながらお子さんの全体的な発達を促す支援を行ってきました。また、親子で通うことで、お子さんとの関わり方や保護者どうしのつながりなど、保護者支援を行ってきました。【児童発達支援センター】					課題解決のための改善策					保育所等訪問支援の制度周知のため、個別に関係機関に説明していくとともに、関係機関が集まる会議等の機会を通じ周知を図ります。千葉県で行う医療的ケア児等コーディネーター養成研修の受講を行うとともに、協議の場に向けた検討を行います。また、児童発達支援センターの整備について、市で設置する児童発達支援センターとの役割分担を明確にし、方向性を協議します。【障害者支援課】(PT・OT)PT室以外でも訓練できるように空き部屋を利用して予約しやすいようにしています。(外来療育)年少以上のお子さんの利用が減っているため、対象のお子さんの年齢を2歳児以上から1歳児以上にしていきます。【児童発達支援センター】					
これまでの課題	保育所等訪問支援においては、障害児が通う関係機関への制度の周知が不足しており、スムーズな連携を行うためには更なる周知が必要です。医療的なケアが必要な障害児への支援体制や児童発達支援センターを中心とした重層的な地域支援体制の構築が課題となっています。【障害者支援課】(PT・OT)PT室の利用が重ならないように支援しているため、空き状況が少ない日もあります。(外来療育)受給者証を取得し、児童発達支援を利用する方が増えているため、療育を使う前段階としての外来療育を希望する方が年々減少している状況です。【児童発達支援センター】					R5からR6年度の取り組み					療育が必要な児童に対するサービス提供体制を維持するとともに、重層的な地域支援体制の構築のため継続して検討していきます。【障害者支援課】感染症対策を行いながら、個別、集団の支援を継続していきます。親子で通う中でお子さんとの日々のかかわりも充実できるように支援していきます。【児童発達支援センター】					
番号	事業名(担当課)	事業内容・事業目標										令和3年度評価				
★129	居宅訪問型児童発達支援 (児童発達支援センター)	通所による児童発達支援の利用が難しい障害児の居宅を訪問し療育支援を実施します。										A・B・C・D				
主な活動指標(事業実績)		R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	主な成果指標				R3実績	R3目標	R4目標	R5目標	R6目標	
居宅訪問型児童発達支援利用実人数		0	1	1	→	→	延べ利用人数				0	12	12	→	→	
R3年度の現状	令和元年度から新規事業として加え、サービスを必要とする方に周知を行いましたが、現在までのところ対象となる児童がおらず、利用申込がなかったため利用実績は0でした。					課題解決のための改善策					サービスを必要とする方に適切な情報が届けられるよう関係機関との連携を図っていきます。また、相談支援の中でサービス利用につなげていくように努めます。					
これまでの課題	通所できるようになった時期に相談につながり、小さいうちは在宅で支援に繋がっていないケースもありました。色々な支援の形があることを、関係機関に周知していくことは今後も必要です。					R5からR6年度の取り組み					今後も関係機関への周知を図り、外出することが困難なお子さんの生活能力向上のために必要な支援を行っていきます。					